

MDPRO ミニコラム：2022 年度決算報告から見る医療機器関連上場企業の業績傾向

MDPRO では医療機器関連上場企業の IR 情報を毎年集計し、売上高の推移や海外売上への動向を分析してきました¹⁾。昨年から集計する会計年度を 3 月期に変更しており、上場企業各社の決算表が出揃いましたので、今年も IR 情報を元に医療機器関連企業の業績について傾向を調べました。今年売上高の推移を企業毎に比較し、業績を伸ばしている企業の特徴や 2020～2021 年に業績が大きく変わった企業、また研究開発費の動向について分析しました。

<MDPRO における FY (Fiscal Year) の考え方>¹⁾

同年 4 月期から翌年 3 月期までの決算値を同一決算年度として集計します。

(例：FY22=2022 年 4 月期から 2023 年 3 月期)

<調査対象企業：文中企業名は(株)を省略して記載>

昨年より富士フイルムホールディングス(富士フイルム HD)、PHC ホールディングス(PHC HD)、H.U.グループホールディングス(H.U. HD)を調査対象企業に加え、合計 47 社を調査対象企業としています。表 1 に各社の事業内容や売上高、営業利益、海外売上高比率、研究開発費を掲載します。

表 1 調査対象企業一覧と FY22 の業績
 ※FY22 の売上高(医療機器関連が含まれるセグメント)が高い順に掲載。
 ※NR=Not Reported。▲はマイナス。

企業名 セグメント名	主要製品・事業内容	事業区分	売上高 [億円]	営業利益 [億円]	海外売上高比率	研究開発費 [百万円]
オリンパス	内視鏡、医療サービス、消化器科処置具、泌尿器科製品、呼吸器科/耳鼻咽喉科/婦人科製品、生体材料、整形外科用器具	機器	8,819	1,866	86%	64,287
テルモ	血管造影用ガイドワイヤー・カテーテル、人工心肺、ステントグラフト、針、シリンジ、輸液・シリンジポンプ、血圧計、体温計、血糖測定器、血液バッグ、血液成分分離装置、医薬品	材料	8,202	1,173	75%	61,583
富士フイルム HD メディカルシステム事業 (ヘルスケア部門)	メディカルシステム機材 (上記に加え、バイオ医薬品製造受託、細胞・培地・試薬等の創薬支援材料、医薬品、化粧品も含む)	-	6111 (9,179)	NR (1,005)	NR (NR)	NR (48,882)
キヤノン メディカルビジネスユニット	CT 装置、超音波診断装置、X 線診断装置、MRI 装置、検体検査装置、眼科機器	機器	5,130	310	62%	45,262
旭化成 ヘルスケア事業	医薬品、診断薬、血液透析・アフエレシス(血液浄化療法)関連機器、AED、除細動器	材料	4,969	419	78%	46,572
HOYA ライフケア事業	眼鏡レンズ、コンタクトレンズ、内視鏡、処置具、眼内レンズ、人工骨、整形インプラント	材料	4,746	943	70%	18,928

企業名 セグメント名	主要製品・事業内容	事業 区分	売上高 [億円]	営業 利益 [億円]	海外 売上高 比率	研究 開発費 [百万円]
ニプロ 医療関連事業	注射・輸液関連、人工臓器関連、 高機能関連、透析関連の医療機 器、医薬品	材 料	4,200	386	50%	9,235
シスメックス	検体検査試薬、検体検査機器	機 器	4,105	737	85%	31,060
日本光電工業	生体計測機器、生体情報モニタ、 治療機器、医療支援システム、検 体検査機器	機 器	2,066	211	34%	6,200
帝人 ヘルスケア事業	医薬品、HOT 用酸素濃縮装置、 CPAP 用治療器、在宅医療サービ ス、その他ヘルスケア関連製品	材 料	1,524	235	NR	13,900
オムロン ヘルスケア事業	電子血圧計、ネブライザー、低周 波治療器、心電計、電子体温計	機 器	1,421	160	81%	7,905
コニカミノルタ ヘルスケア事業	画像診断システム(X線画像診断、 超音波診断システム)、遺伝子検 査、プライマリケア関連サービ ス、創薬支援	機 器	1,378	▲1,122	NR	11,300
フクダ電子	心電計、ポリグラフ、超音波画像 診断装置等の生体検査装置、生体 情報モニタ、カテーテル、人工呼 吸器等の治療装置、消耗品	機 器	1,346	241	10% 未満	3,785
PHC HD 糖尿病マナジメン ト事業	血糖自己測定システム、POCT 製 品等の体外診断機器、電気式医薬 品注入器	-	1,118	267	93%	NR
メニコン	コンタクトレンズ及びケア用品	材 料	1,102	121	30%	4,325
ニコン ヘルスケア事業	生物顕微鏡、細胞培養観察装置、 超広角走査型レーザー検眼鏡	機 器	994	116	87%	6,441
朝日インテック	血管内治療用ガイドワイヤー・カ テーテル	材 料	777	152	77%	7,364
島津製作所 医用機器事業	X線TVシステム、X線撮影シス テム、血管撮影システム、PET シ ステム	機 器	759	55	46%	1,304
日機装 医療部門	血液透析関連製品、急性血液浄化 装置、除菌消臭装置	機 器	752	▲11	38%	NR
カネカ ヘルスケアソリュ ーションユニット	ASO 治療用血液浄化装置、カテー テル、脳動脈瘤塞栓コイル、低分 子医薬品原料、API、バイオ医薬 品	材 料	708	157	NR	2,806
H.U. HD 臨床検査薬事業	子会社である富士レビオ・ホール ディングスの事業(ルミパルス事 業、OEM・原材料供給事業等)	-	701	267	NR	4,727

企業名 セグメント名	主要製品・事業内容	事業 区分	売上高 [億円]	営業 利益 [億円]	海外 売上高 比率	研究 開発費 [百万円]
トプコン アイケア事業	3次元眼底像撮影装置、眼底カメラ、トノメーター、手術用顕微鏡、視力検査装置、他	機器	666	40	NR	2,736
JMS	輸液、経腸栄養、透析、人工心肺、カテーテル、急性血液浄化、血液・細胞分離、細胞関連デバイス、医薬品	材料	637	7	36%	1,318
東レ ライフサイエンス 事業	医薬品・医療機器(血液透析ろ過用ダイアライザー、他)	材料	538	2	19%	2,756
日本ライフライン	リズムデバイス、EP/アブレーション、外科関連、インターベンション	材料	518	108	10% 未満	2,316
ナカニシ 歯科製品関連事業	治療用ハンドピース、技工用マイクロモーター&ハンドピース、外科用ハンドピース及び滅菌器等	材料	441	169	83%	NR
ホギメディカル	医療用消耗品、医療機器(手術用品、滅菌用品、R-SUD製品)及び医療用不織布製品等	材料	390	66	10% 未満	379
東洋紡 ライフサイエンス 事業	診断薬用酵素等のバイオ製品、医薬品、医用膜、医療機器(神経再生誘導チューブ、骨再生誘導材、人工腎臓用中空糸膜)等	材料	381	92	43%	1,700
シード	コンタクトレンズ・ケア用品、眼鏡	材料	306	6	11%	1,921
堀場製作所 医用	血球計数装置、免疫測定装置、生化学用検査装置、血糖値検査装置	機器	298	▲1	79%	2,941
松風 デンタル関連事業	人工歯類、研削材類、金属類、加工品類、セメント類、機械器具類	材料	292	37	54%	NR
エー・アンド・デイ 医療・健康機器事業	家庭用デジタル血圧計、血圧監視装置、全自動血圧計、精密体重計、超音波吸入器等	機器	245	47	78%	994
メディキット	人工透析用留置針、静脈留置針、イントロデューサー、血管造影用カテーテル	材料	216	41	12%	323
日本エム・ディ・エム	整形外科分野の医療機器(人工関節、骨接合材料、脊椎固定器具)	材料	213	20	42%	662
ニチバン メディカル事業	絆創膏、止血製品、術後ケア	材料	211	48	10% 未満	667
マニー	手術用機器(皮膚縫合器、眼科ナイフ等)、手術用針付縫合糸、手術用縫合針、歯科用根幹治療機器、歯科用回転切削機器、歯科材料	材料	204	62	81%	1,560

企業名 セグメント名	主要製品・事業内容	事業 区分	売上高 [億円]	営業 利益 [億円]	海外 売上高 比率	研究 開発費 [百万円]
日本電子 医用機器事業	自動分析装置、臨床検査情報処理システム、全自動アミノ酸分析機	機器	184	5	39%	1,688
クリエートメディック	ディスプレイカテーテル・チューブ	材料	123	7	32%	882
リオン 医療機器事業	補聴器(補聴器、難聴者訓練用機器等)、医用検査機器(オーディオメータ、聴力検査室等)	機器	122	10	NR	938
テクノメディカ	採血管準備装置・システム、検体検査装置、採血管等の消耗品	機器	94	16	12%	369
大研医器	吸引器、麻酔関連製品(注入器、電動ポンプ)、手洗い設備関連	材料	91	11	10% 未満	316
川本産業 メディカル事業	衛生材料、医療用品(口腔ケア製品、手術関連製品等)、介護用品等	材料	85	4	10% 未満	NR
プレジジョン・システム・サイエンス	DNA 自動抽出装置、免疫化学発光測定装置、臨床検査用の検体前処理装置、全自動 PCR 検査装置、試薬・消耗品等	機器	74	2	68%	385
パイオラックス 医療機器	IVR(血管内治療)、内視鏡治療(消化器内視鏡ガイドワイヤ等)及び脳外科用整形治療機器	材料	44	1	NR	58
日本アイ・エス・ケイ デンタル関連事業	歯科医療に関する設備・機器類	機器	17	1	10% 未満	85
オーベクス メディカル製品事業	薬液注入器、血管造影用ガイドワイヤー等	材料	14	1	NR	37
日本フェンオール メディカル部門	人工腎臓透析装置	機器	12	1	NR	66

[出所] 医機連通信第 302 号 MDPRO ミニコラム¹⁾と FY22 の IR 情報より筆者作成

<売上高の推移と成長企業の特徴>

図 1 に調査対象企業の内、FY17 から集計している 44 社の総売上高の推移を示します。富士フィルム HD、PHC HD、H.U. HD は含まれていません。厚生労働省が実施した 2021 年度 医薬品・医療機器産業実態調査では、512 社の内資系医療機器関連企業の総売上高を約 5.2 兆円と報告されています²⁾。これは、医薬品・医療機器産業実態調査は 1995 年(平成 7 年)11 月 1 日付に厚生労働省より通知された薬発第 1008 号「医療用具の一般的名称と分類について」に基づく医療機器製品分類毎の売上高が報告されていますが、IR 情報は各社の事業セグメント毎に報告されるため、医療機器以外の製品も多く含まれており、調査対象企業数は 44 社ですが総売上高は 5.9 兆円を超えています。

図 2 に各社の売上高と CAGR(FY17-22)を示します。売上高の大きさに関係なく多くの企業がプラス成長しており、CAGR が 10%を超えている企業は 4 社もありました。

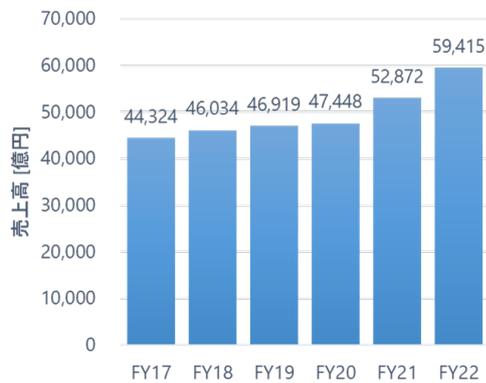


図 1 売上高総額推移

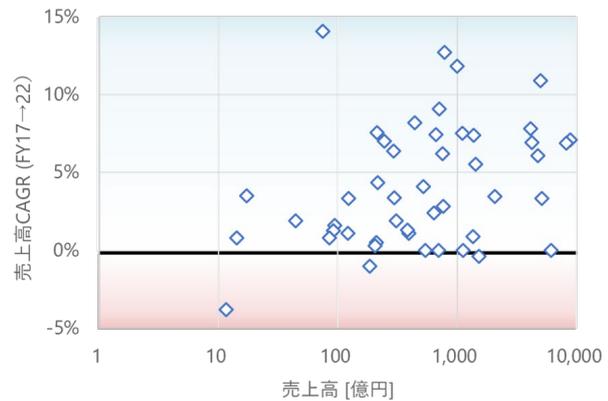


図 2 売上高と年平均成長率

[出所] 医療機器関連企業 44 社の IR 情報より筆者作成

次に売上高を伸ばしている企業の特徴を海外売上比率と従業員数の側面から調べてみました。図 3 に海外売上高比率の増減と売上高 CAGR、図 4 に従業員数の増減率([FY22 従業員数-FY17 従業員数]/FY17 従業員数)と売上高 CAGR をプロットした結果を示します。また、表 1 に示す各社の事業区分に分別し機器系と材料系企業の違いによる傾向も確認しました。

FY17 と FY22 で売上高が公開されている企業は 44 社あり、そのうち決算報告から海外売上高も読み取れるのは 25 社です。調査対象企業は限定的ではありますが、図 3 のように海外売上比率が増えている企業ほど売上高 CAGR も伸びている傾向が現れました。また、プレジジョン・システム・サイエンスのように、国内市場を中心に売り上げを伸ばしている企業も存在することがわかります。他方、事業区分の違いごとに特筆すべき傾向はありませんでした。図 4 からは、売上高を伸ばしている企業は従業員数も増えている傾向がみえていることから、次は営業利益率と売上高 CAGR の傾向を調べてみたいと思います。

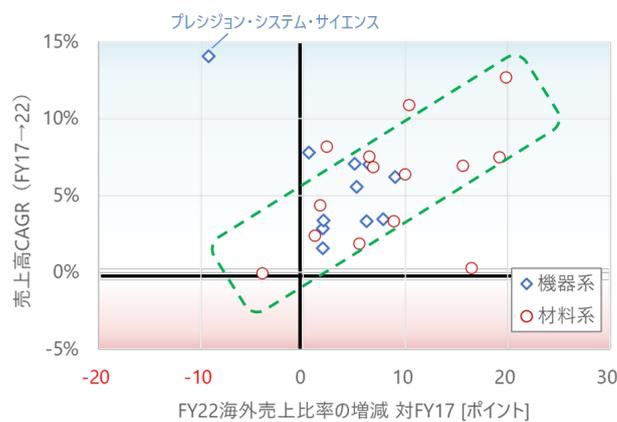


図 3 海外売上比率の増減と売上高 CAGR

[出所] 海外売上高を報告している医療機器関連企業 25 社の IR 情報より筆者作成

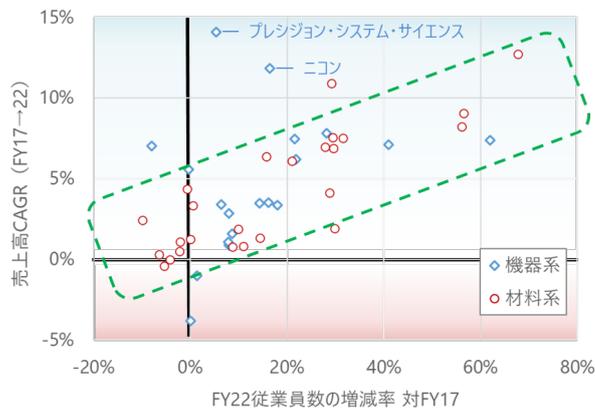


図 4 従業員数の増減率と売上高 CAGR

[出所] 医療機器関連企業 44 社の IR 情報より筆者作成

図5に売上高CAGRと営業利益率の差分をプロットした結果を示します。今回は全体傾向を把握することを目的としているため、FY22の営業利益率が特異的に低かったコニカミノルタ(ヘルスケア事業)は除く43社を対象に分析しました。その結果、売上高と共に従業員数も増えていることが影響しているためか、営業利益率の増減と売上高CAGRに相関はありませんでした。また、営業利益率が減少している企業は材料系の方がわずかに多いように見えます。なお、営業利益率が大幅に増えたプレジジョン・システム・サイエンスとニコンは、FY17に赤字だった営業利益が黒字に回復した企業でした。

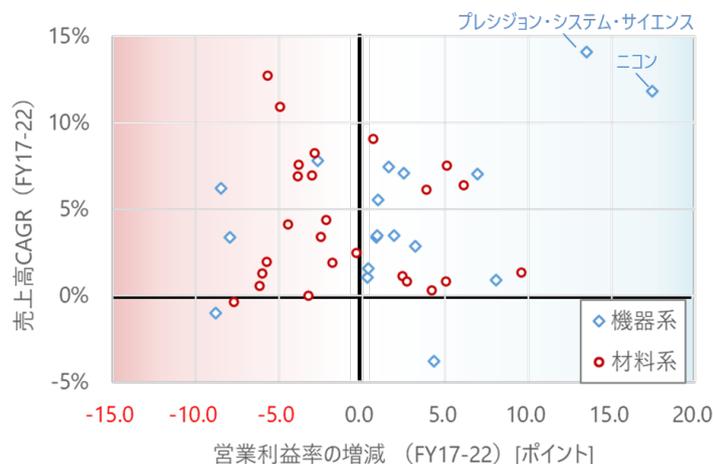


図5 営業利益率の増減と売上高CAGR

[出所] 医療機器関連企業43社のIR情報より筆者作成

<2020～2021年に業績が大きく変わった企業>

次に2020年と2021年の業績(売上高と営業利益)に変曲点のある企業について注目し、その要因を調査したいと思います。分析方法は、FY17からFY20(FY17->20)とFY17からFY22(FY17->22)の成長率(増減率)を比較し、その差が大きい企業を抽出することとしました。変曲点のない継続的な増減傾向がある場合は成長率が一定数のため差は小さくなりますが、FY20またはFY21の業績に変曲点があれば差が大きくなります。評価指標は売上高CAGRと、営業利益は一年あたりの営業利益増減率 $([FY20 \text{ または } FY22 \text{ 営業利益} - FY17 \text{ 営業利益}] / FY17 \text{ 営業利益} / \text{経過年数})$ としました。営業利益はマイナスが含まれておりCAGRが算出できないため、営業利益の増減率を経過年数で割った式で評価することにしました。

営業利益増減率の差の絶対値が大きかった上位10社を対象に、評価指標を図6のようにプロットしました。また、表2に各評価指標の差分と矢印の向きをまとめました。営業利益増減率がFY20までと比べて減少している企業は赤い矢印としています。

コニカミノルタ、川本産業、日本フェンオールの差分が特に大きく現れていることがわかります。矢印の向きを見ると営業利益増減率と売上高CAGRが共に増加または減少している企業だけでなく、営業利益増減率とは逆に売上高CAGRが変化している企業など各社様々です。業績が大きく変わった要因について各社の有価証券報告書を調べてみると、「原価低減活動」、「製品不具合の影響」、「投資と回収の時期」のような個社特有の事情や、「COVID-19の影響」や「原材料費や電力費の高騰」といった社会環境が影響したと報告している企業がありました。また、COVID-19の影響で業績が変わった企業には、製品の需要が増えて一時的に営業利益を伸ばしている企業と、逆に経済の停滞によって業績を落とした企業もありました。

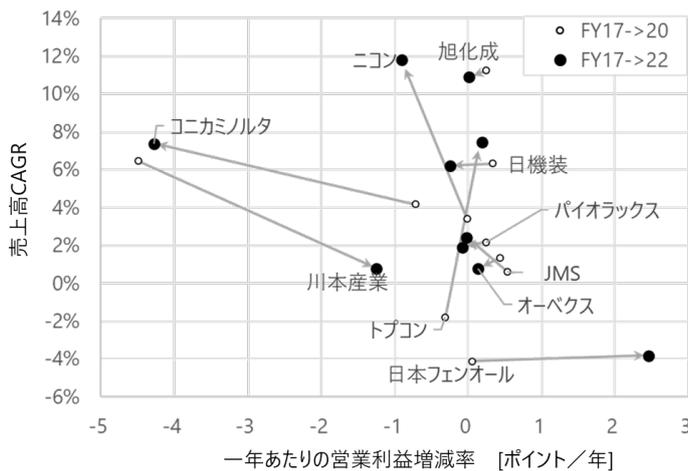


表 2 業績変化の大きかった企業上位 10 社

	営業利益増減率の差 [ポイント/年]	売上高 CAGR の差 [ポイント]	矢印の向き
1 コニカミノルタ	-3.6	3.2	↖
2 川本産業	3.2	-5.7	↘
3 日本フェンオール	2.4	0.3	↗
4 ニコン	-0.9	8.4	↖
5 日機装	-0.6	-0.1	↖
6 JMS	-0.6	1.8	↖
7 トプコン	0.5	9.2	↗
8 パイオラックス	-0.3	-0.3	↖
9 オーベクス	-0.3	-0.6	↖
10 旭化成	-0.2	-0.4	↖

図 6 業績変化の大きかった企業の成長率比較

[出所] 各社 IR 情報より筆者作成

<研究開発費の傾向>

各企業の売上高に対する研究開発費の傾向について調査しました。図 7 は調査対象企業のうち、研究開発費を公開している 42 社の IR 情報を収集し FY22 の売上高と研究開発費をプロットしました。線形近似した計算式をみると、医療機器関連企業の売上高に対する研究開発費の割合は約 7% となりました。総務省統計局の 2022 年科学技術研究調査³⁾によると、「電子部品・デバイス・電子回路製造業」の研究費の比率は 6.4%、「プラスチック製品製造業」は 2.6%、ゴム製品製造業は 4.7% であり、医療機器関連企業の研究開発費は、類似する産業と比較して概ね同等か少し高め傾向となりました。

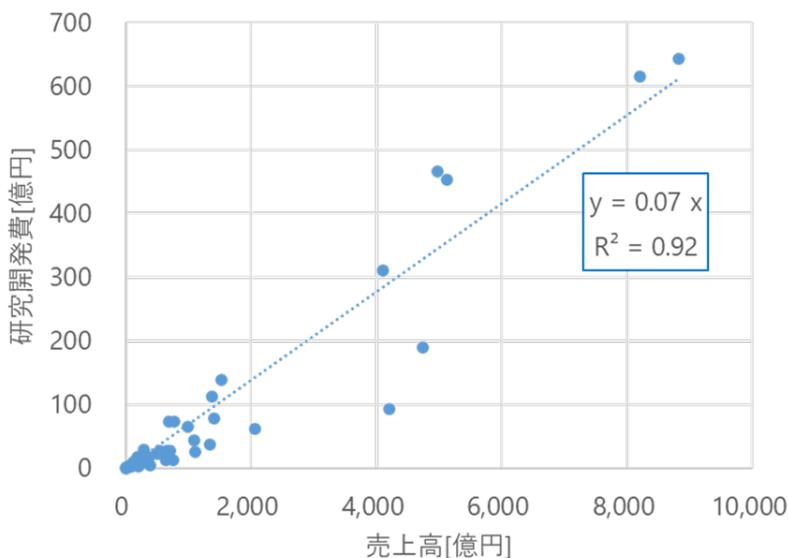


図 7 売上高と研究開発費

[出所] 医療機器関連企業 42 社の IR 情報より筆者作成

次に売上高と研究開発費の傾向を調べるため、FY17 から FY22 の CAGR を図 8 のようにプロットしました。その結果、機器系・材料系企業の違いによらず、売上高の CAGR に対して研究開発費の CAGR の方が低い企業が多いように見えます(図中の赤色背景色エリア)。他方、一部の企業では全体的な傾向とは異なり、売上高 CAGR 以上に研究開発費を増やしている企業もありました(図中の青色背景色エリア)。

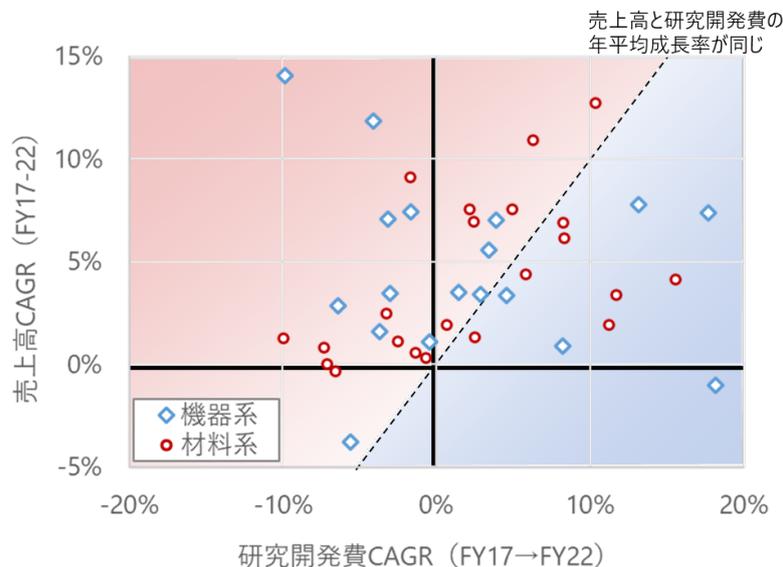


図8 売上高と研究開発費のCAGR

[出所] 医療機器関連企業40社のIR情報より筆者作成

＜まとめ＞

各企業のIR情報は医療機器以外の事業も含まれていますが、医療機器産業の一面を示す新たな分析が行えたと思います。しかし、近年は他業種からの参入や非上場企業が主要なプレーヤーとして台頭してきており、対象とするデータや適切な分析手法は常に考えていかなければなりません。今後もMDPROでは様々なオープンデータを活用し、産業実態の可視化に取り組んでいきたいと思えます。

◇出典(URLは2023年8月4日時点)

- 1) 医機連, 医機連通信 MDPRO ミニコラム
 - ・「2021年度決算報告から見る医療機器企業の業績、海外売上高比率の推移」医機連通信 302号, https://www.ifmda.gr.jp/wp/wp-content/uploads/2022/08/MDPROminicolumn302_202208.pdf
 - ・「医療機器関連企業の2019、2020年度決算報告から見た業績について」医機連通信 291号, https://www.ifmda.gr.jp/wp/wp-content/uploads/2021/12/ミニコラム_20210915_第291号_re.pdf
- 2) 厚生労働省, 医薬品・医療機器産業実態調査, <https://www.mhlw.go.jp/toukei/list/87-1.html>
- 3) 総務省統計局, 2022年 科学技術研究調査, <https://www.stat.go.jp/data/kagaku/kekka/index.html>

(医療機器政策調査研究所 平井 祐治 記)

医療機器政策調査研究所からのお知らせ  [@JFMDA_MDPRO](https://twitter.com/JFMDA_MDPRO)
Twitterで医療機器産業に関連するニュースを配信中。医機連トップページからフォローできます。